

1053号屋内消火栓ポンプ等補修工事

工事件名	1053号屋内消火栓ポンプ等補修工事					図面番号	1 / 12
図面名称	表紙					縮尺	—
陸上自衛隊 新発田駐屯地業務隊 管理科						令和8年6月29日	

工 事 仕 様 書

- 1 工 事 件 名 1 0 5 3 号屋内消火栓ポンプ等補修工事
- 2 工 事 場 所 新潟県新発田市大手町 6－4－1 6 陸上自衛隊新発田駐屯地
- 3 工 事 期 間 契約日から令和 9 年 3 月 3 1 日（火）
- 4 工 事 概 要 1 0 5 3 号建物消火栓ポンプユニット, 付帯配管・配線 撤去・新設
1 0 5 4 号建物消火栓ポンプユニット付帯給水配管 撤去・新設
- 5 一 般 事 項 本工事は本特記仕様書によるほか「防衛省整備計画局制定建築
工事共通仕様書」による。（以下標準仕様書という。）
標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料、品質、
性能、工法、検査方法等を明示している場合において、それら関
係法令等（条例含む）に接触する場合には、関係法令等の遵守の
規定を優先する。

共 通 事 項	一 般 共 通 事 項	
	項 目	細 部
共 通 事 項	1 協 議	・本特記仕様書及び図面に疑義が生じた場合には、監督官と協議 を行い指示に従うこと。
	2 軽微な変更	・現場の納まり等により軽微な変更の必要性が生じたときは、監 督官と調整し、その指示に従うこと。ただし、請負金額・工期等 の変更は行わないものとする。
	3 施工計画書及び施工図	・施工の確認を行う段階及び施工の具体的な計画を定めた総合施 工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督官に提出する。 ただし、あらかじめ監督官の承諾を受けた場合はこの限りでない。
	4 現 場 管 理	・受注者は現場代理人等を指定し、関係法令に基づき現場の管理 を行い、防災に努めること。また、危険性のある場所には危険表 示等の処置を行うこと。
	5 施 工 条 件	・施工時間は、平日の 0 8 1 5 ～ 1 7 0 0 までを基準とする。 ・土曜・休日・祝日に作業を計画する場合は、3 日前までに申し 出るものとする。
	6 施工中の安全確保	・工事実施に関して、隊員及び部外者等に障害等を与えた場合、 又は施設等に損害を与えた場合は受注者の責任において復旧及び 補償すること。
	7 発 生 材	・受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の 有効な利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資 源化等に関する法律」（以下、「建設リサイクル法」という。） その他関係法令等を遵守して建築副産物の適正な処理をし、その 結果をマニフェスト等（A、B 2、D、E 票）の提出する他、再 生資源の活用を図らなければならない。また、金属類の有価物発

共 通 事 項	8 後 片 付 け	生材は、運搬及び処分できる大きさに切断し、監督官の指示する 場所に整理集積し、発生材調書を添えて引き渡すものとする。 ・工事実施期間中は、工事現場の後片付け及び清掃を行い常に整 理整頓に努めること。 ・敷地内における工事関係車両通行ルート of 安全対策は、請負者 の責任において十分管理し、通行ルート及び工事施工場所周辺の 道路等の飛散物による粉塵防止のため清掃を行うこと。
	9 環境への配慮	・『国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律』（以下 「グリーン購入法」という。）に基づき、環境負荷低減できる材 料の選定に努める。
	10 材料の品質等	・使用する材料は、揮発性有機化合物の放射による健康への影響 に配慮しかつ、石綿は含まないものとする。 使用材料は仮設材を除き全て新品とし、監督官の検査を受け合格 したものを使用すること。 ・本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有 するものとし、J I S 又は J A S マーク表示のない材料を使用す る場合は、あらかじめ監督官に品質証明となる資料を提出して承 諾を受けるものとする。また、同等品を使用する場合は監督官の 承諾を受けること。
	11 工 事 写 真	・工事写真は、施工前・施工中・施工後及び施工後隠蔽となる箇 所、主要な工事段階の工事状況・使用材料・その他監督官の指示 するものを国土交通省大臣官房営繕部「営繕工事写真撮影要領」 を参考に整理し、一部を提出するものとする。
	12 書 類 手 続	・本工事に必要な申請及び提出書類は官側の示す規格様式で作成 し提出すること。
	13 立 入	・受注者は、工事入門に際し駐屯地の規則及び監督官の指示を厳 守するものとし、指定された場所以外への立入りを禁止する。 ・本工事中において、外国人建設就労者を工事に従事させる場合は 官側により指示された書類に従事開始予定の 3 週間前までに提出 の上、官側の承認を得た後に工事に従事させること。
	14 秘 密 厳 守	・本工事実施によって知り得た内容を漏洩してはならない。
	15 電気、水の使用	・本仕様書等は、工事関係者以外の複製を禁ずる。 ・工事に使用する電気及び水等は受注者にて準備すること。 やむを得なく官側の施設を使用する場合は有償とし、受注業者 の負担によりメーターを設置する。

工 事 件 名	1 0 5 3 号屋内消火栓ポンプ等補修工事	図面番号	2 / 1 2
図 面 名 称	仕様書	縮 尺	－
陸上自衛隊 新発田駐屯地業務隊 管理科			

（許可なく複製を禁ずる。）

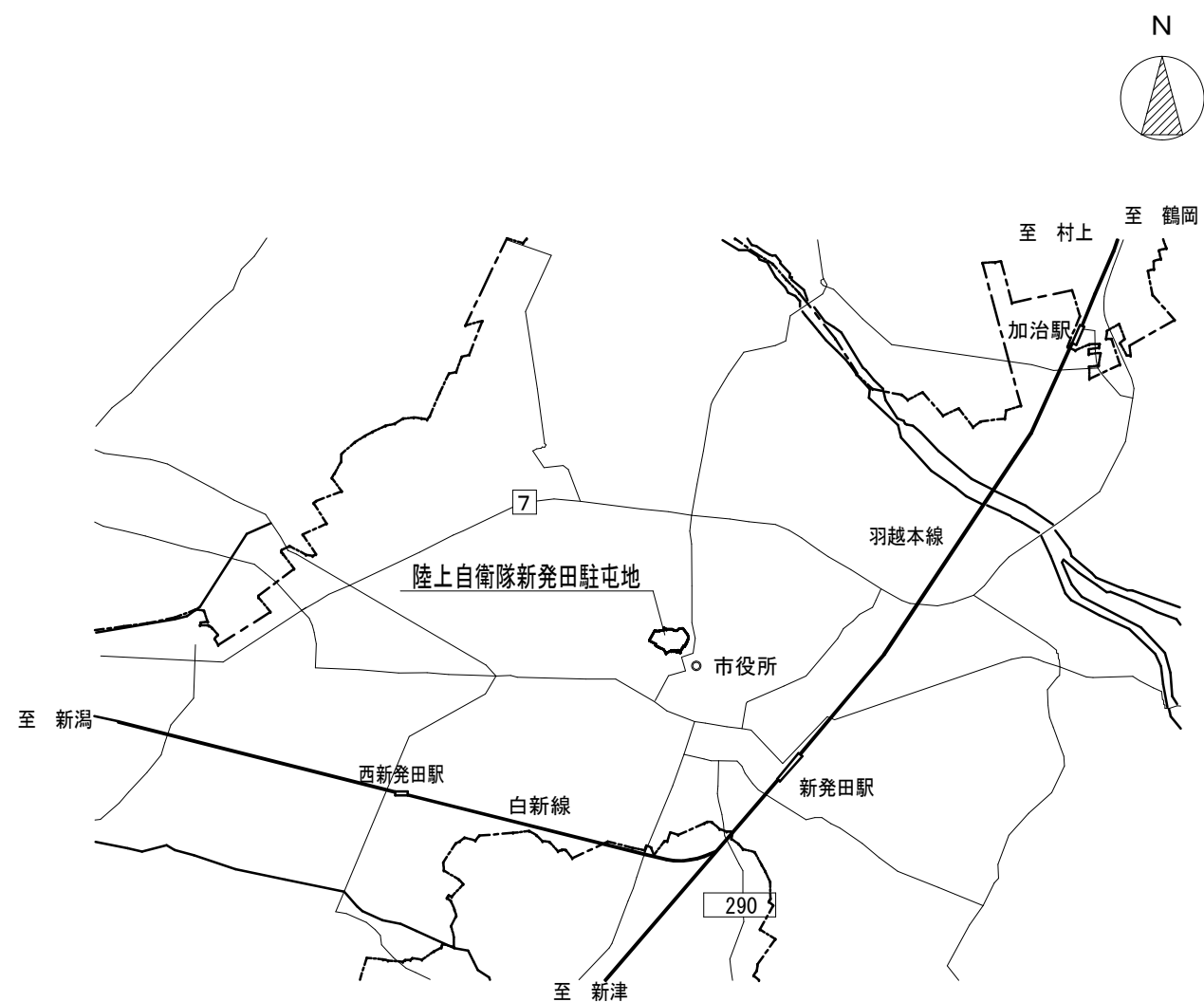
6 特記事項

特 記 事 項		
項 目	細 部	
1 共 通 工 事	・ 着工前の石綿含有調査を実施するにあたり、既存施設の設計図書等が必要な場合は、監督官に申し出ること。 ・ 工事に使用する足場は、脚立足場程度とし、既存部分を汚損しないよう必要に応じて養生をすること。また、工事完成後は、通路及び工事部分の清掃を実施した後に完成検査を受けること。 ・ 各工程における仕様は本仕様書、標準仕様書、各製造会社の仕様に基づき施工すること。 ・ 本仕様書に記載の製造者及び型式（型番）は参考のものであり、製品を特定するものではない。 ・ 本工事に起因する不具合が発見された場合は、監督官からの連絡の後に速やかに補償、修繕を実施すること。 ・ 工事に際し、停電及び断水が必要な場合は、事前に監督官と協議し、その指示に従うこと。	
2 消 火 機 器	・ 設置する消火ポンプユニットは。日本消防設備安全センターが定める認定基準に適合されたものとし、消防法で義務付けられた標準付属品を含むものとする。 ・ ユニット本体の据付は、消防法および製品の取扱説明書を遵守すること。 ・ 新設するポンプ用制御盤はユニット組込品とする。 ・ 本体は既存基礎に据付するものとし、軸継手の芯出し調整、モルタル充填・硬化後の基礎ボルト締め（平均締め）による固定の後、電気配線を実施すること。 ・ ポンプは、共通ベース基礎上に水平になるように据付の後、軸心の調整を行うこと。 ・ ポンプ廻りの配管要領は公共建築設備標準図（機械設備工事編）の消火栓ポンプユニット廻り配管要領による。なお、配管の施工に先立ち事前調査を十分に行い、既設設備との関連事項、勾配、接続位置等を考慮して、その他への影響を及ぼさないよう施工すること。 ・ 本工事におけるフランジによる接続は、接続するフランジ面を平滑に清掃を行った後接続すること。 ・ 本体設置後、製品の取扱説明書を基準とした試運転・試験調整を実施すること。 ・ 機器設置に先立ち設置を予定する消火栓ポンプの製作図、据付図、カタログ等を提出し、監督官からの承認をうけること。 ・ 機器設置後、既存コンクリート基礎へアンカーボルト打ち直しにより堅固に固定し、不要になる既存アンカーボルトの穴は塞ぎ補修すること。 ・ 消防法に基づく各届出書類等については、請負者の負担で各種書類作成および提出並びに検査に係る協議・立会を実施すること。	

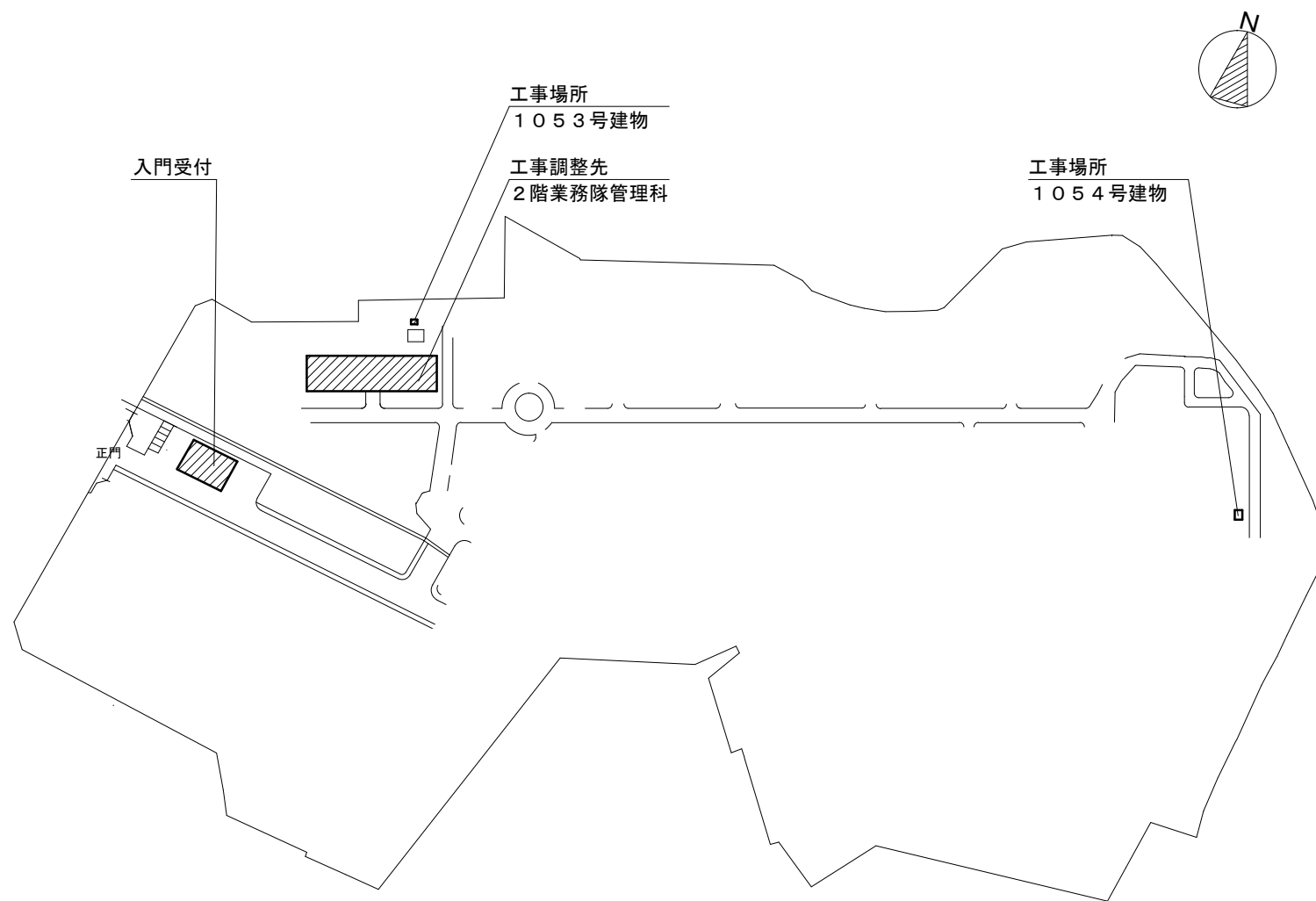
3 配 管 工 事	・ 消火栓ポンプユニット周囲のユニット附属品でない配管等については、本仕様書「新設消火栓ポンプ設備図」を参考のうえ、配管の規格等については新設する消火栓ポンプユニットの各接続部に適合する配管を選定し、必要により配管支持金具・固定金具材を設置すること。 ・ 配管交換にあわせて、配管継手の交換も実施すること。また、吐出管及び給水管の屋外一般配管新設にあたり、受注者の責任で該当建物壁面に適切に支持具を材料準備・取付けするものとする。なお、支持具に使用する材料は50mm幅のステンレス製アングル材を基準とする。 ・ 施工要領や施工方法、既存設備の状況等により図示された施工範囲を変更する必要がある場合は、事前に監督官と協議すること。 ・ 本工事の屋外埋設配管の交換に伴う掘削は請負者の負担で実施すること。また、掘削は各部埋設配管の長さを基準とし配管掘削幅が1m未満になるよう実施、配管交換作業後に管の下端から上端までを山砂等で敷き込み、埋戻したのち掘削発生土埋戻し、表層面から砂利敷きA種を基準とする。また、埋戻しの際は土被り150mm程度の深さに埋設表示テープを設置し、細部は監督官と調整すること。
4 電気設備工事	・ ポンプ用制御盤設置に伴い、配管・配線張替えを実施すること。 ・ 制御盤内配線はブレーカー・端子台を残し全て撤去とし、撤去により生じた穴は適切に閉塞すること。

工事件名	1 0 5 3 号屋内消火栓ポンプ等補修工事	図面番号	3 / 1 2
図面名称	仕様書	縮 尺	—
陸上自衛隊 新発田駐屯地業務隊 管理科			

（許可なく複製を禁ずる。）



駐屯地案内図 S=Non

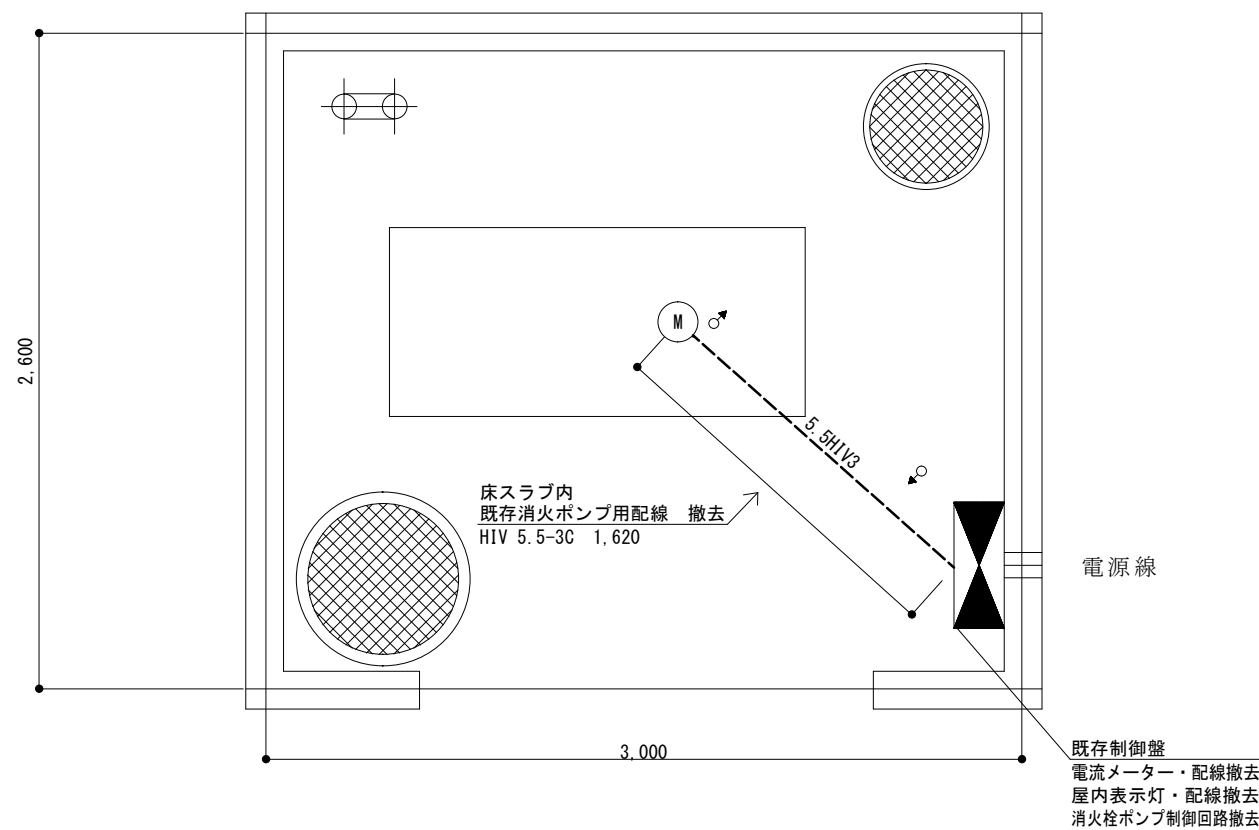


駐屯地配置図 S=Non

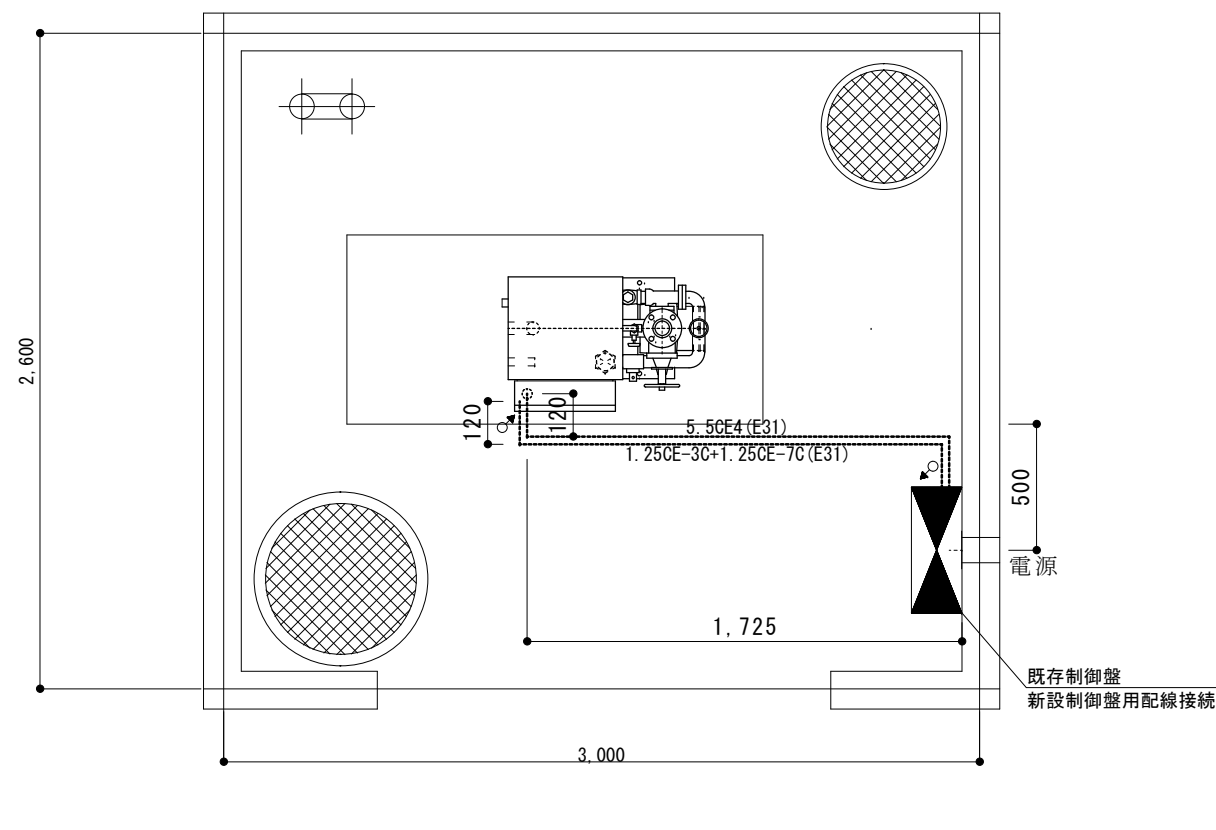
工事件名	1053号屋内消火栓ポンプ等補修工事	図面番号	4 / 12
図面名称	駐屯地案内図・配置図	縮尺	—

陸上自衛隊 新発田駐屯地業務隊 管理科

(許可なく複製を禁ずる。)



1053号建物 電気設備図（改修前） S=1/30



1053号建物 電気設備図（改修後） S=1/30

※ 新設制御盤配線立上 ♂ は820mm、既設制御盤配線立下 ♀ は660mmを基準とする。

数量表（撤去）

凡 例				数 量	備 考
<u>5.5HIV3</u>	HIV 5.5-3C	（床スラブ内隠ぺい配線）	（撤去）	1.62m	

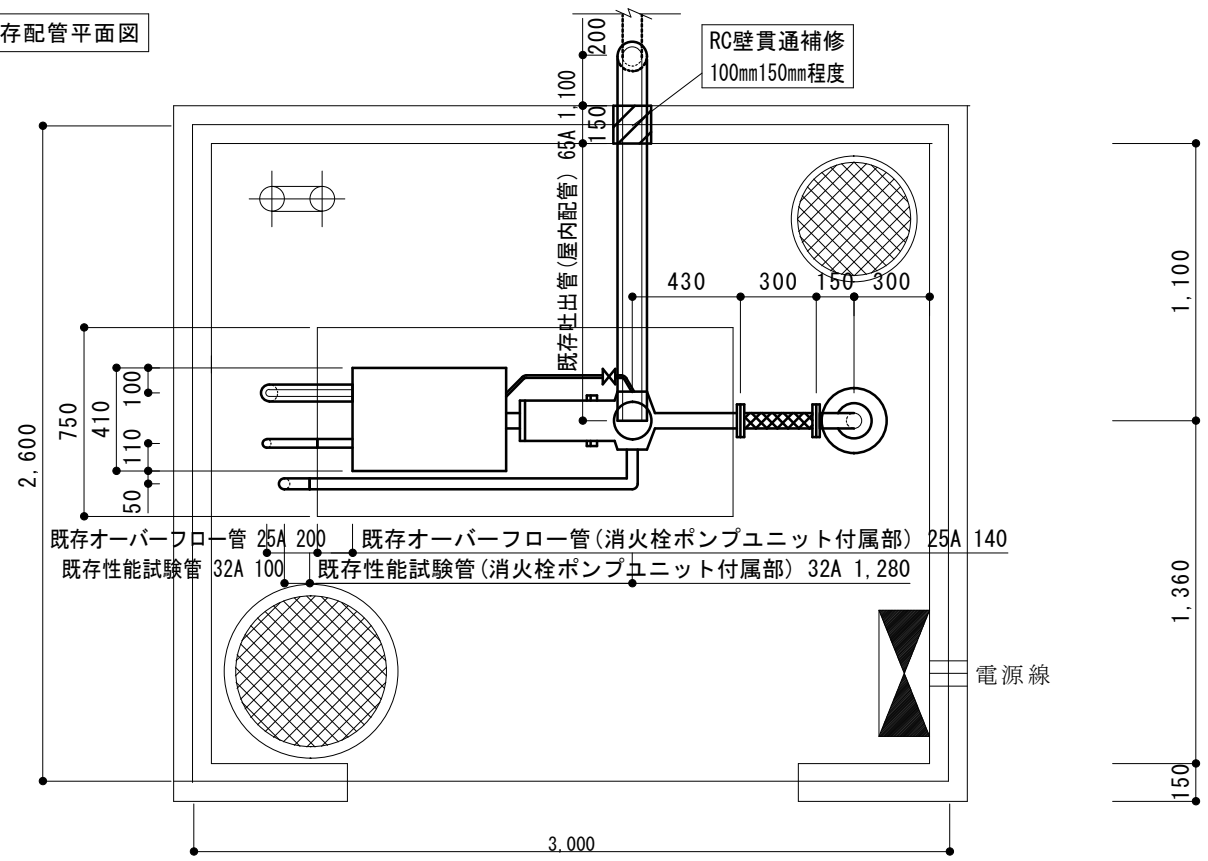
数量表（新設）

凡 例				数 量	備 考
<u>5.5CE4(E31)</u>	EM-CE5.5-4C	（ねじなし電線管露出配線）	（新設）	3.825m	0.82m+0.12m+1.725m+0.5m+0.66m
<u>1.25CE-3C+1.25CE-7C(E31)</u>	EM-CEE1.25-3C EM-CEE1.25-7C	（ねじなし電線管露出配線）	（新設）	3.825m 3.825m	0.82m+0.12m+1.725m+0.5m+0.66m 0.82m+0.12m+1.725m+0.5m+0.66m

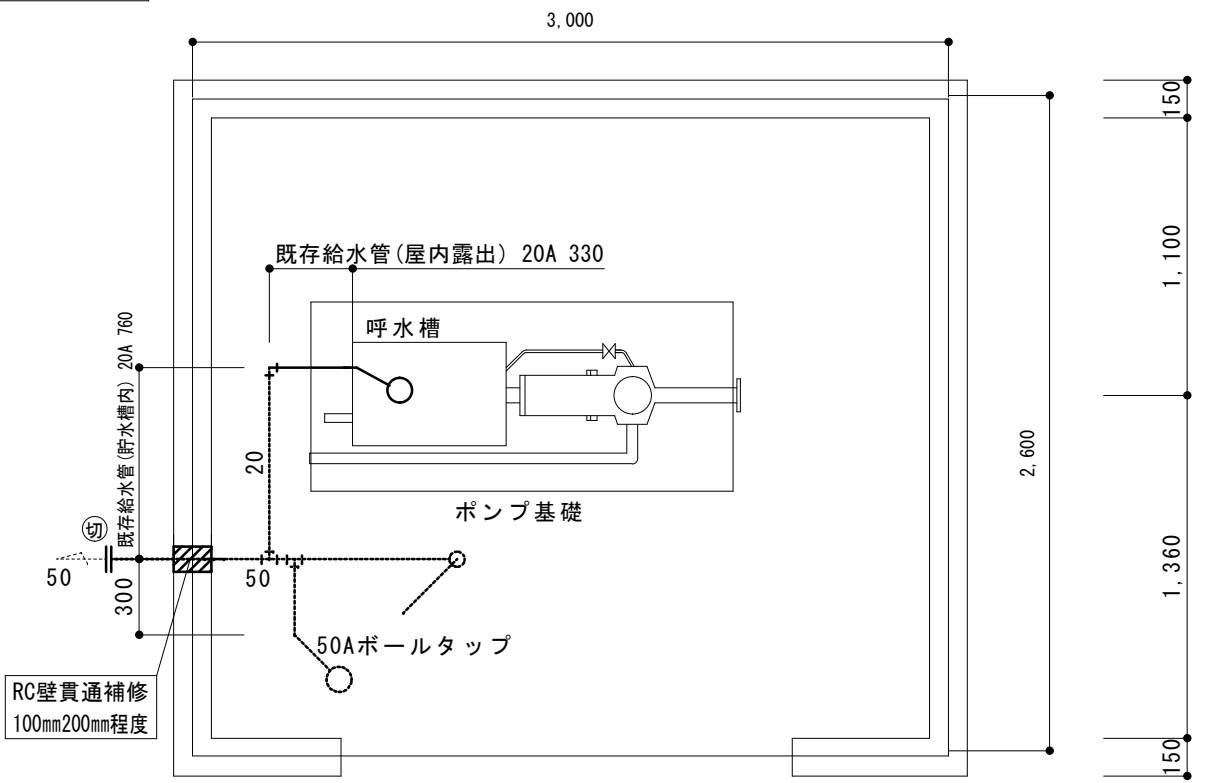
工 事 件 名	1 0 5 3 号屋内消火栓ポンプ等補修工事	図面番号	5 / 1 2
図 面 名 称	1 0 5 3号建物電気設備図（改修前・後）、制御盤改修図	縮 尺	図 示
陸上自衛隊 新発田駐屯地業務隊 管理科			

（許可なく複製を禁ずる。）

1053号既存配管平面図

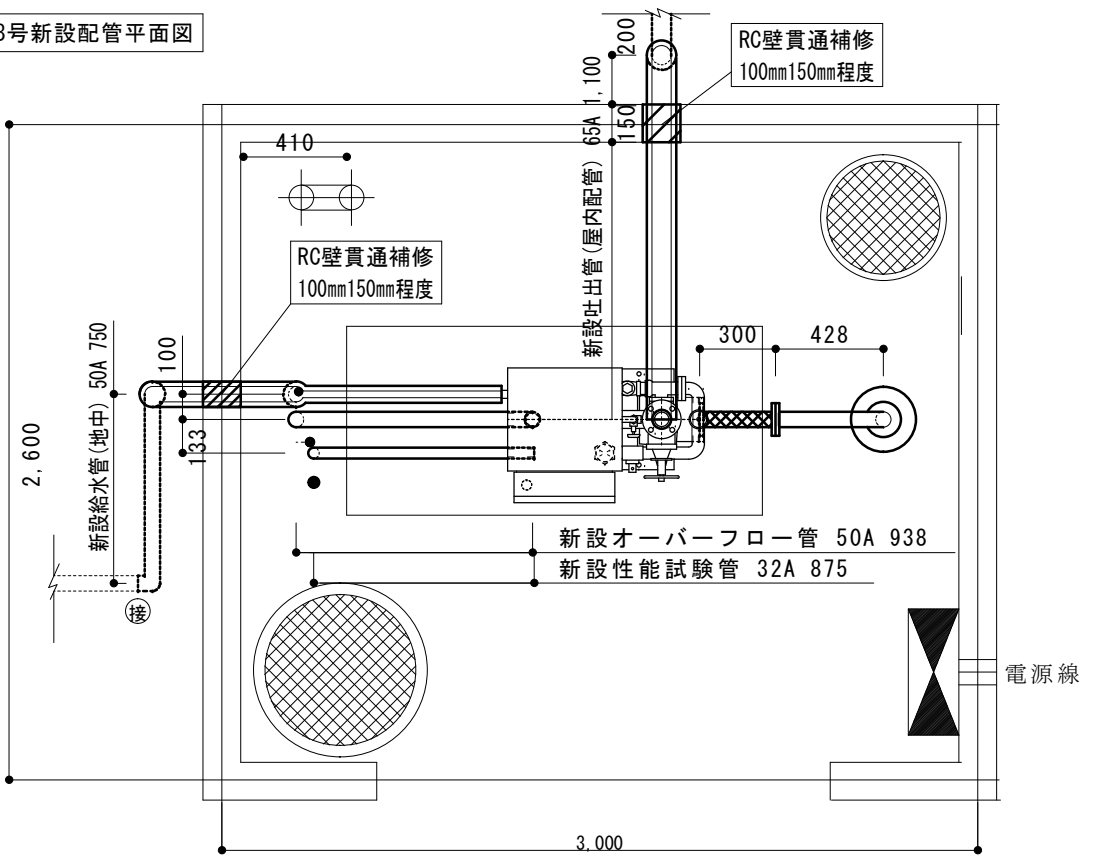


1053号既存給水管単線図



※ 配管の撤去は保温および継手類を含むものとする
※ -----は貯水槽内配管を示す

1053号新設配管平面図

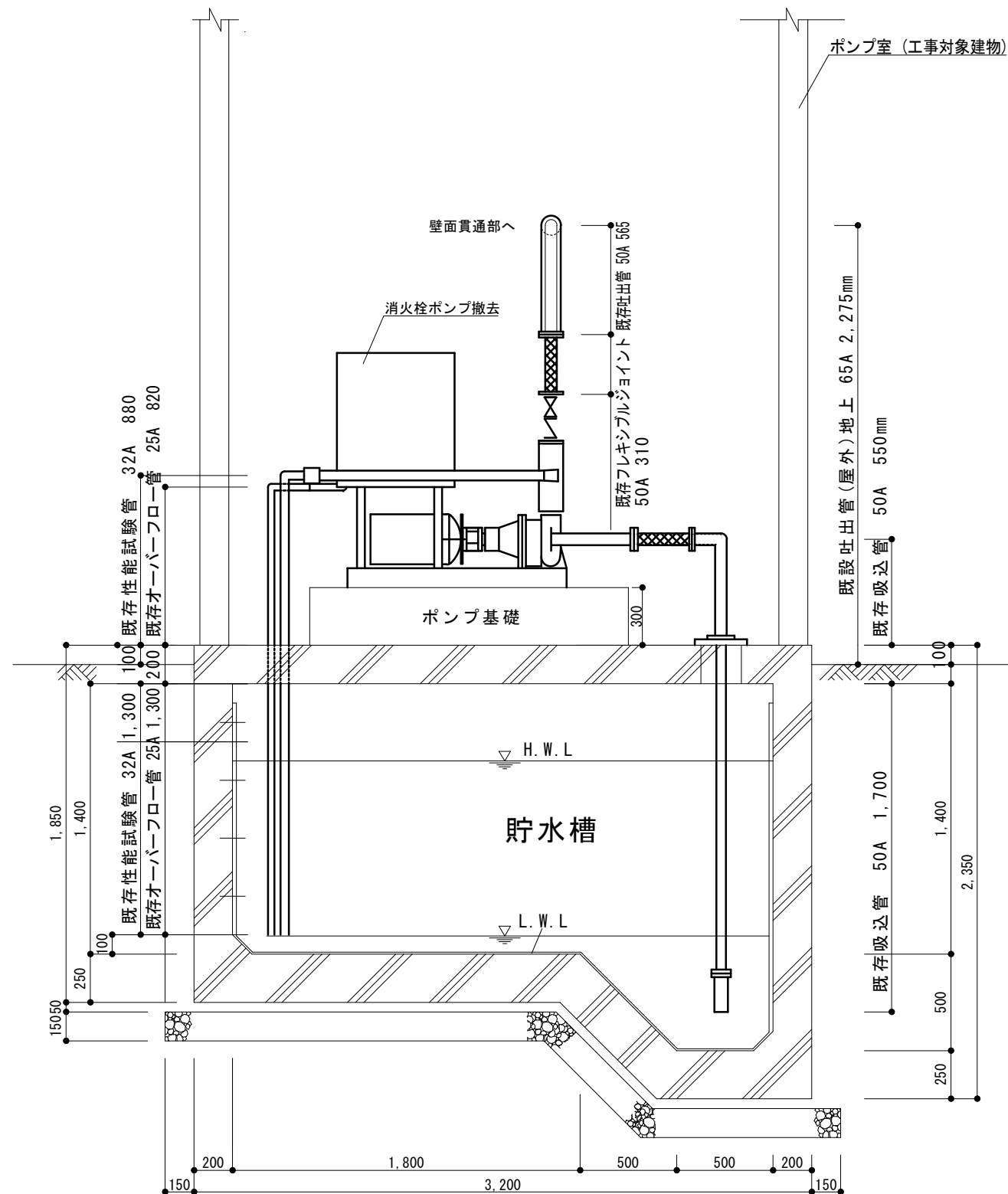


工事件名	1053号屋内消火栓ポンプ等補修工事	図面番号	6 / 12
図面名称	1053号配管平面図（撤去・新設）	縮 尺	図 示

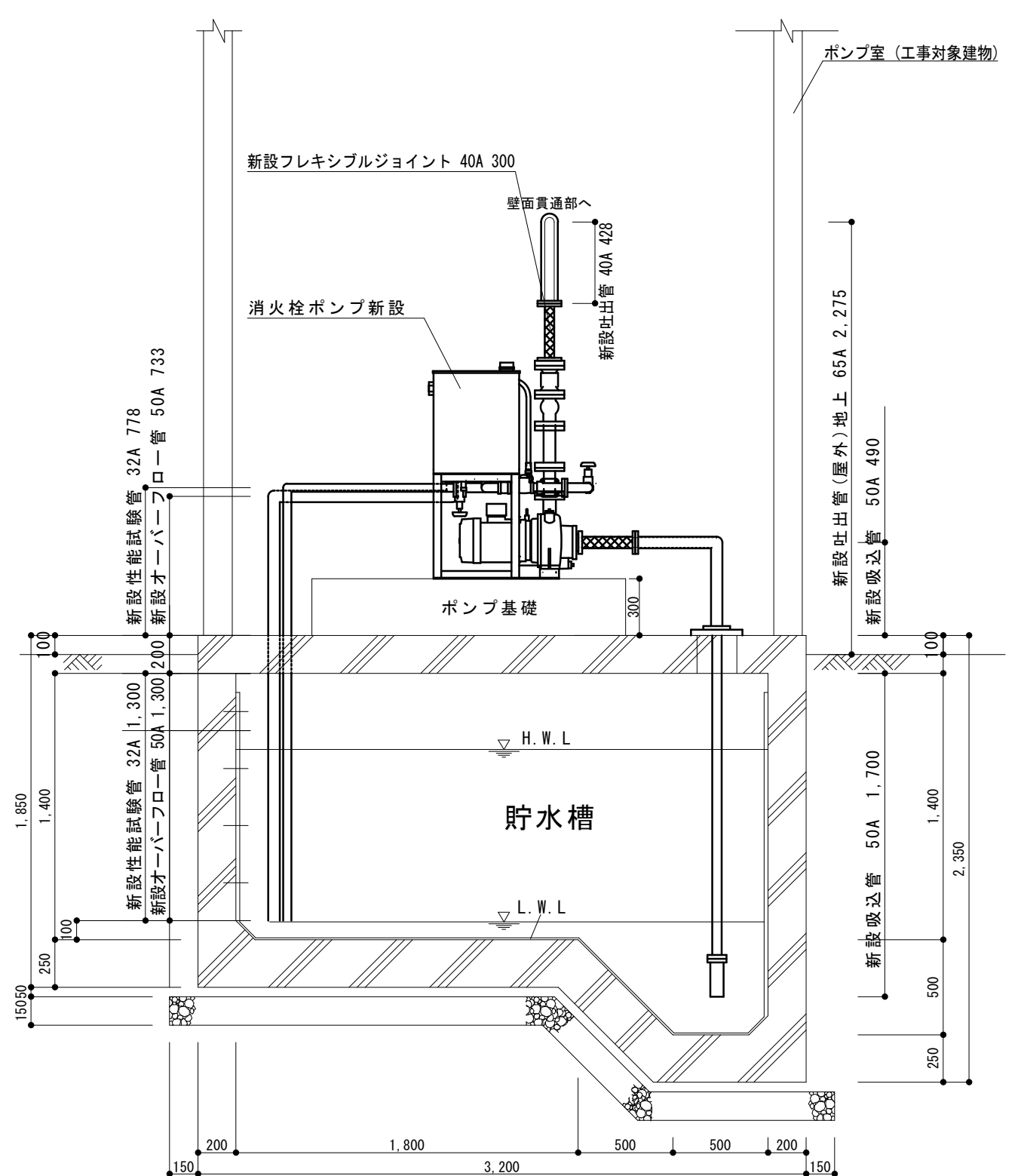
陸上自衛隊 新発田駐屯地業務隊 管理科

（許可なく複製を禁ずる。）

1053号既設配管立面図(給水管除く)



1053号新設配管立面図(給水管除く)

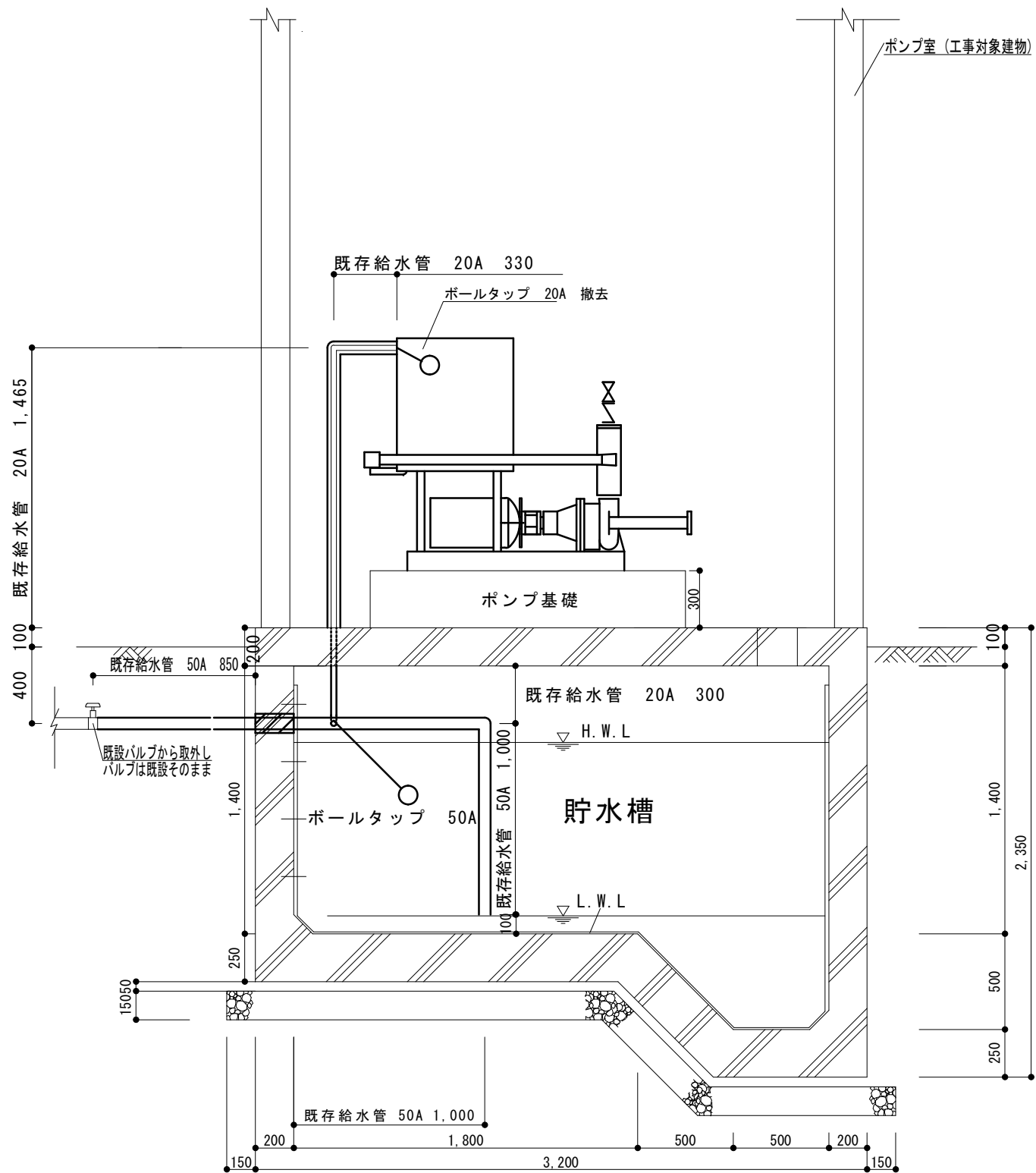


工 事 件 名	1053号屋内消火栓ポンプ等補修工事	図面番号	7 / 12
図面名称	1053号建物配管立面図(給水管除く) (撤去・新設)	縮 尺	S=1/30

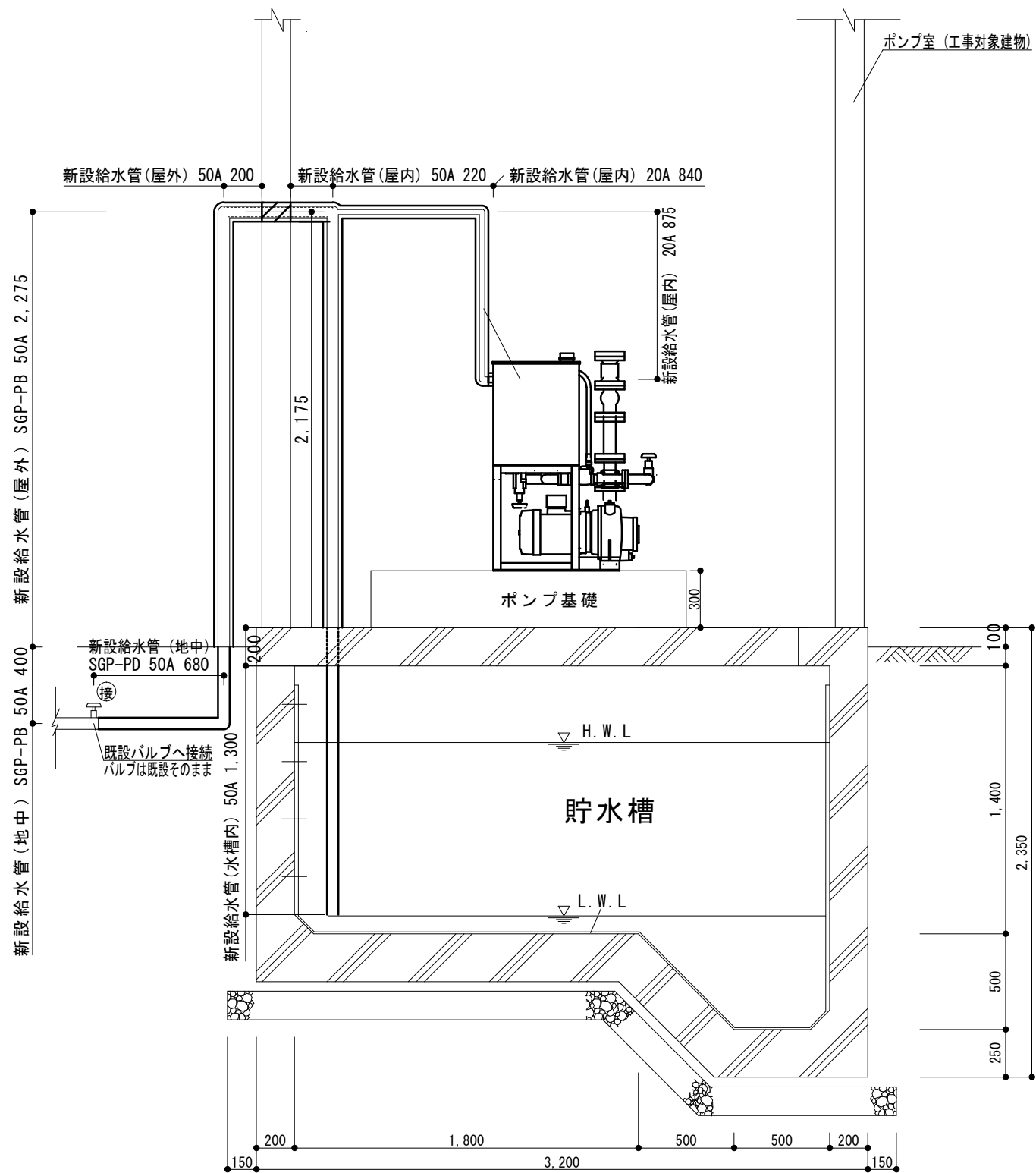
陸上自衛隊 新発田駐屯地業務隊 管理科

(許可なく複製を禁ずる。)

1053号既設配管立面図(給水管)



1053号新設配管立面図(給水管)



※ (接) は、配管接続箇所を示す

工事件名	1053号屋内消火栓ポンプ等補修工事	図面番号	8 / 12
図面名称	1053号建物配管立面図(給水管) (撤去・新設)	縮尺	S=1/30
陸上自衛隊 新発田駐屯地業務隊 管理科			

(許可なく複製を禁ずる。)

撤去数量表（1053号屋内配管）

用途	規格	施工場所	呼び径	数量	数量内訳	備考
屋内消火栓ポンプユニット	5.5kw			1台		
給水管	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)	屋内一般	20A	1.795m	0.33m+1.465m	配管保温共
		貯水槽内	20A	1.26m	0.2m+0.3m+0.76m	
			50A	2.2m	0.2m+1m+1m	
	ボールタップ	呼水槽内	20A	1個		
吸込管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)	貯水槽内	50A	1個		定水位弁×1・制御配管一式含む
		屋内一般	50A	0.7m	0.15m+0.55m	配管保温共
		貯水槽内	50A	1.9m	0.2m+1.7m	
吐出管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)	屋内一般	50A	0.565m	0.565m	配管保温共
			65A	1.25m	0.15m+1.1m	配管保温共
性能試験管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)	屋内一般	32A	0.98m	0.1m+0.88m	仕切弁×1含む
		貯水槽内	32A	1.5m	0.2m+1.3m	
オーバーフロー管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)	屋内一般	25A	1.02m	0.2m+0.82m	
		貯水槽内	25A	1.5m	0.2m+1.3m	
吸込管接続	フレキシブルジョイント 300mm		50A	1個		
吐出管接続	フレキシブルジョイント 300mm		50A	1個		

新設数量表（1053号屋内配管）

用途	規格	施工場所	呼び径	数量	数量内訳	備考
屋内消火栓ポンプユニット	5.5kw			1台		KTK505CE5.5T 同等品以上
給水管	水道用亜鉛メッキ硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-PB)	屋内一般	20A	1.715m	0.84m+0.875m	継手(エルボ×1)・仕切弁×1含む, 配管保温共
			50A	2.545m	0.15m+0.22m+2.175m	仕切弁×1含む, 配管保温共
		貯水槽内	50A	1.5m	0.2m+1.3m	
	ボールタップ	呼水槽内	20A	1個		
吸込管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)	貯水槽内	50A	1個		定水位弁×1・制御配管一式含む
		屋内一般	50A	0.918m	0.428m+0.49m	配管保温共
		貯水槽内	50A	1.9m	0.2m+1.7m	
吐出管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)	屋内一般	40A	0.428m	0.428m	配管保温共
			65A	1.25m	0.15m+1.1m	配管保温共
性能試験管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)	屋内一般	32A	1.653m	0.875m+0.778m	
		貯水槽内	32A	1.5m	0.2m+1.3m	
オーバーフロー管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)	屋内一般	50A	1.671m	0.938m+0.733m	
		貯水槽内	50A	1.5m	0.2m+1.3m	
吸込管接続	フレキシブルジョイント 300mm		50A	1個		
吐出管接続	フレキシブルジョイント 300mm		40A	1個		

工事件名	1053号屋内消火栓ポンプ等補修工事	図面番号	9 / 12
図面名称	1053号建物屋内配管数量表（撤去・新設）	縮尺	S=1/30
陸上自衛隊 新発田駐屯地業務隊 管理科			
（許可なく複製を禁ずる。）			

撤去数量表（屋外配管）

用途	規格	施工場所	呼び径	数量	数量内訳	備考
給水管	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)	地中配管	50A	1.02m	0.85m+0.17m	配管切断×1箇所（1054号建物）、掘削断面図1適用
吐出管	配管用炭素鋼鋼管 (SGP)	暗渠内	50A	4.28m	0.2m+0.53m+0.5m+0.2m+0.15m+0.5m+0.9m+1.3m	
		地中配管	50A	4.8m	2.4m×2箇所	掘削断面図2適用
		屋外一般	65A	2.475m	0.2m+2.275m	配管保温共
		地中配管	65A	63.688m	0.63815m+13.5m+13.2m+36.35m	掘削断面図3適用

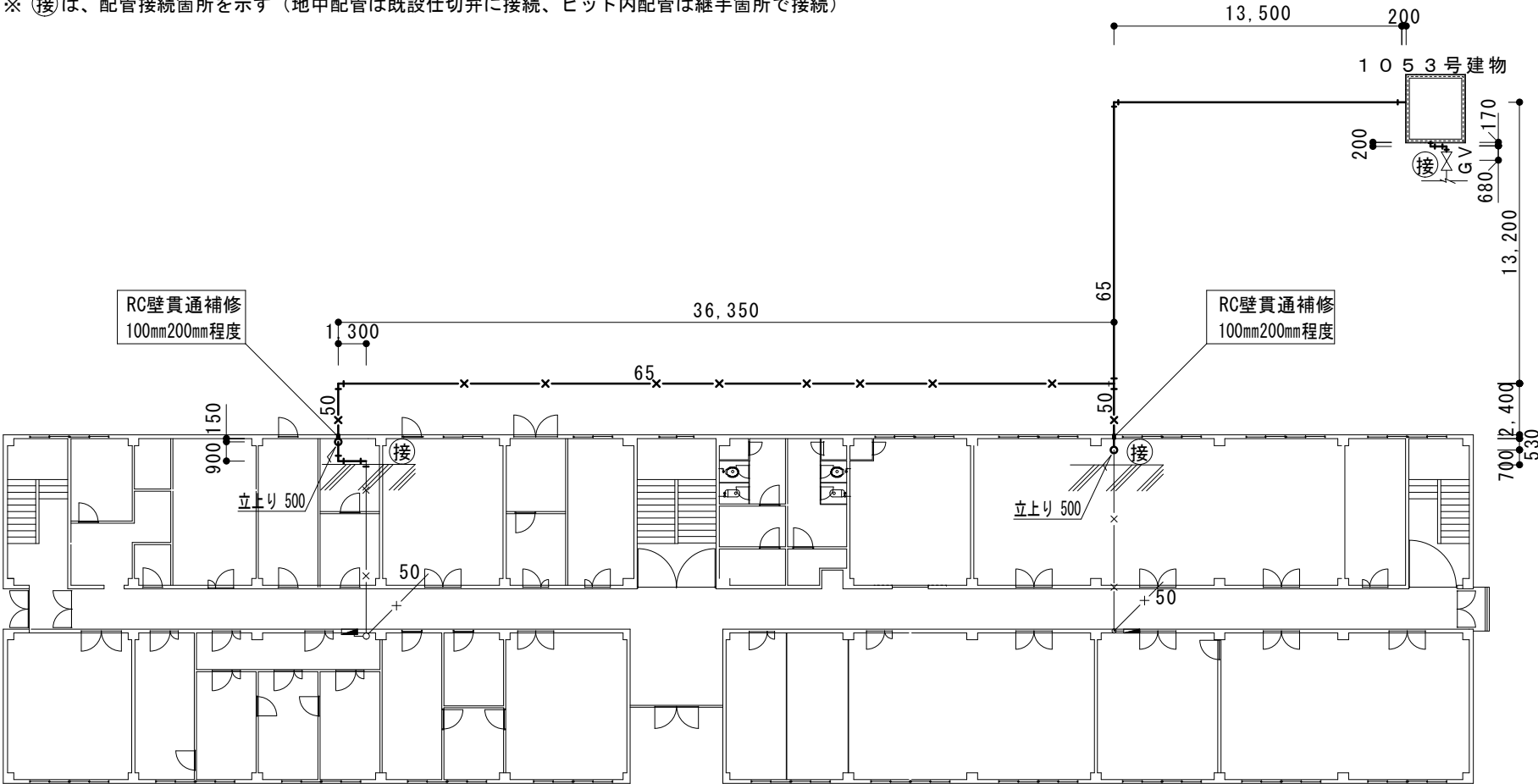
※ 配管の撤去は保温および継手類を含むものとする

新設数量表（屋外配管）

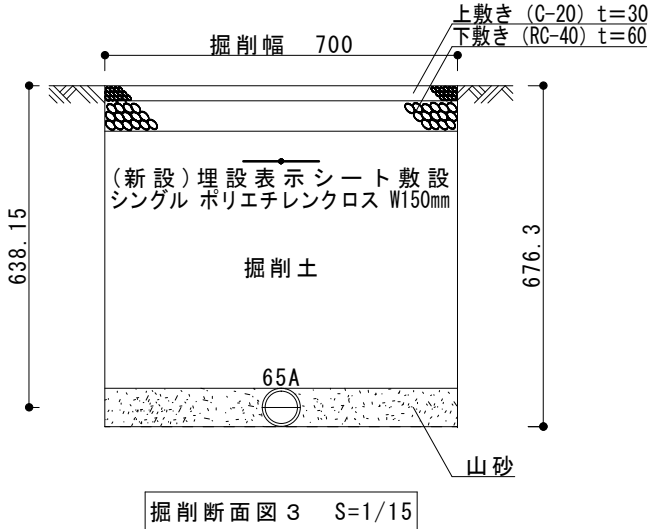
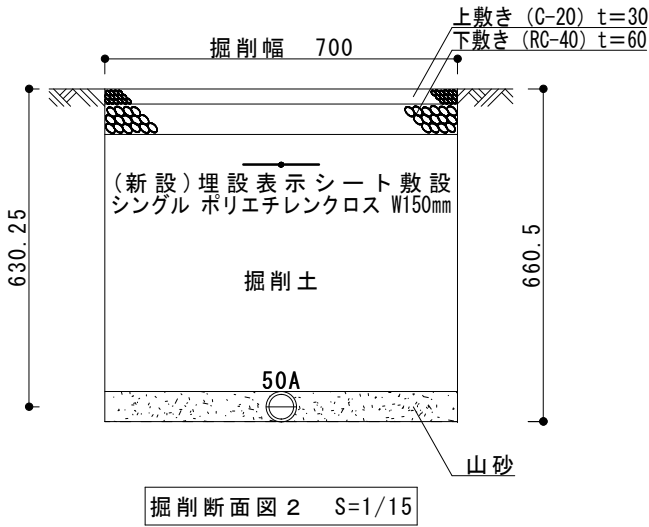
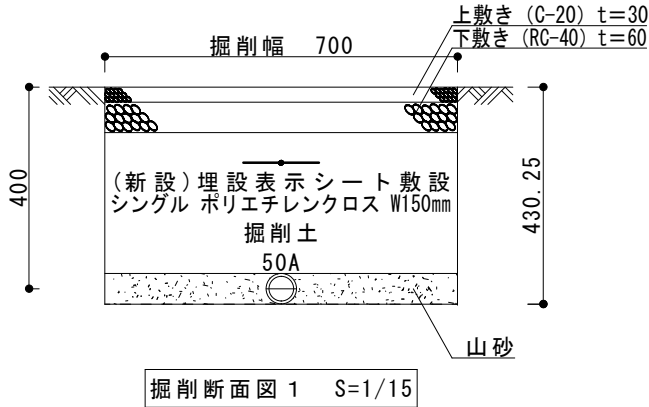
用途	規格	施工場所	呼び径	数量	数量内訳	備考
給水管	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)	屋外一般	50A	4.95m	(0.2m+2.275m)×2箇所	配管保温共
		地中配管	50A	0.8m	0.4m×2箇所	
	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PD)	地中配管	50A	22.3m	0.75m×2箇所+0.68m	配管接続×2箇所(各建物1箇所)、掘削断面図1適用
吐出管	消火用配水ポリエチレン管 (HPPE-FF)	暗渠内	50A	4.28m	0.2m+0.53m+0.5m+0.2m+0.15m+0.5m+0.9m+1.3m	配管接続×2箇所
		地中配管	50A	4.8m	2.4m×2箇所	掘削断面図2適用
		屋外一般	65A	2.475m	0.2m+2.275m	配管保温共
		地中配管	65A	63.688m	0.63815m+13.5m+13.2m+36.35m	配管接続×2箇所、掘削断面図3適用

※ 配管の新設は保温および継手類を含むものとする

※ (接)は、配管接続箇所を示す（地中配管は既設仕切弁に接続、ピット内配管は継手箇所で接続）



屋外消火配管改修図 S=1/300

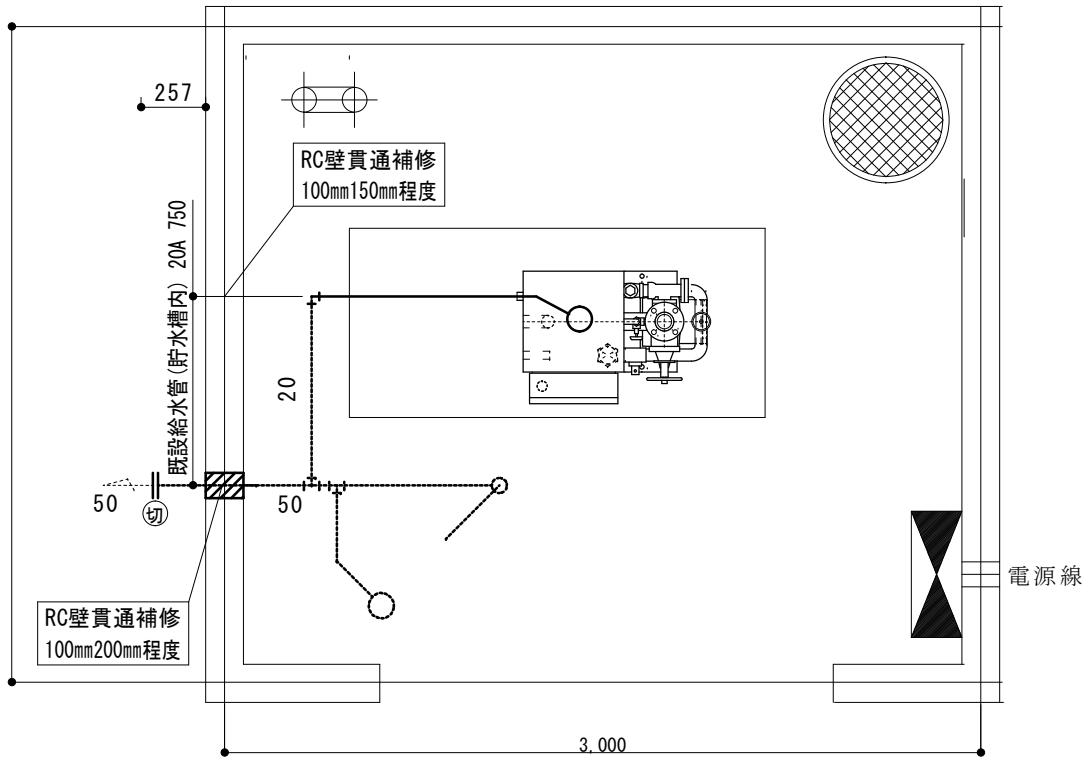


工事件名	1053号屋内消火栓ポンプ等補修工事	図面番号	10/12
図面名称	屋外消火配管改修図・各種掘削断面図	縮尺	図示

陸上自衛隊 新発田駐屯地業務隊 管理科

（許可なく複製を禁ずる。）

1054号既設配管平面図

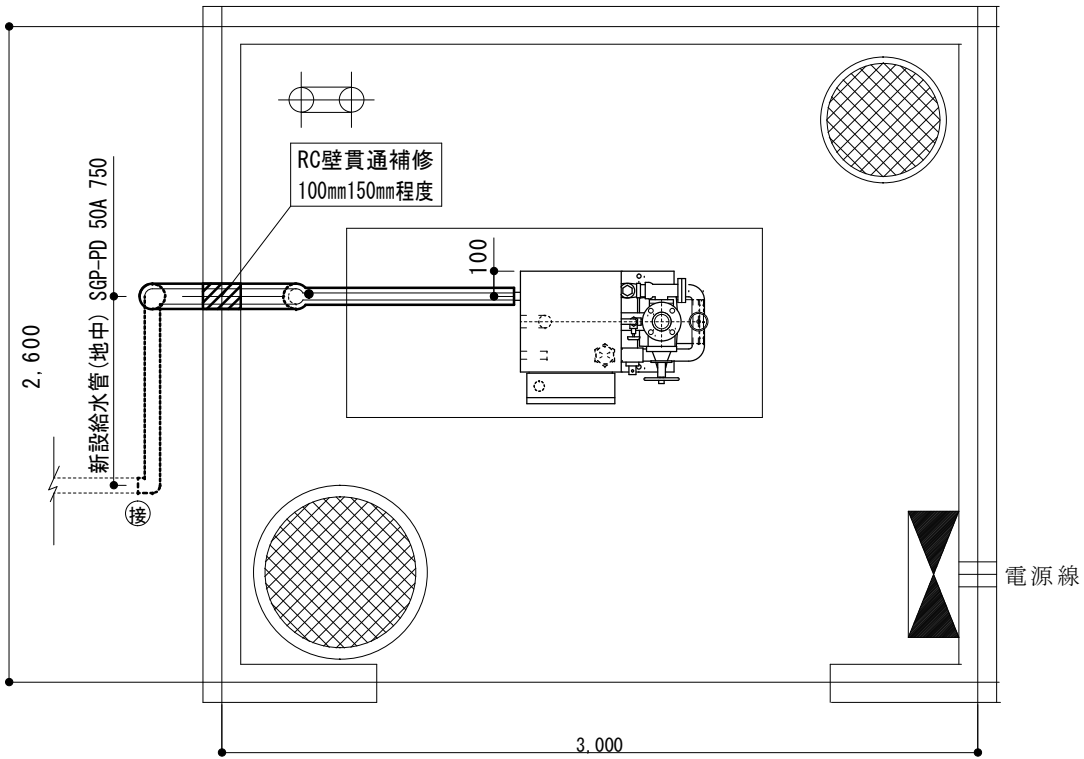


※ 配管の撤去は保温および継手類を含むものとする
※ -----は貯水槽内配管を示す
※ (切)は、配管切断箇所を示す

撤去数量表（1053号屋内配管）

用途	規格	施工場所	呼び径	数量	数量内訳	備考
給水管	水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管 (SGP-PB)	屋内一般	20A	2.16m	0.84m+1.32m	配管保温共
		貯水槽内	20A	1.25m	0.2m+0.3m+0.75m	
			50A	2.24m	0.2m+1.04m+1m	
	ボールタップ	貯水槽内	50A	1個		定水位弁×1・制御配管一式含む

新設配管平面図



※ (接)は、配管接続箇所を示す

新設数量表（1054号屋内配管）

用途	規格	施工場所	呼び径	数量	数量内訳	備考
給水管	水道用亜鉛メッキ硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-PB)	屋内一般	20A	1.745m	0.855m+0.89m	仕切弁×1含む, 配管保温共
		貯水槽内	50A	2.545m	0.15m+0.22m+2.175m	仕切弁×1含む, 配管保温共
			50A	1.5m	0.2m+1.3m	
	ボールタップ	貯水槽内	50A	1個		定水位弁×1・制御配管一式含む

工事件名	1053号屋内消火栓ポンプ等補修工事	図面番号	11/12
図面名称	1054号配管平面図・数量表(撤去・新設)	縮尺	S=1/30

陸上自衛隊 新発田駐屯地業務隊 管理科

(許可なく複製を禁ずる。)

